

農委だより

つくば

第65号

発行月 令和8年7月
発行 つくば市農業委員会
〒305-8555
つくば市研究学園一丁目1番地1
TEL 029-883-1111 (代)



令和8年度 農地再生チャレンジ事業



素敵なイラストを
いただきました!



今年は
豊作でした!

つくば市農業委員会 飯野会長

これまでの作業の
様子はこちらから
ご覧いただけます



市内の荒れてしまった農地を再生し意欲ある担い手へと引き継ぐ、つくば市農業委員会独自の取組「農地再生チャレンジ事業」。今年で15回目を迎えた本事業では、これまでに7ha以上の農地を再生し、担い手に引き継いできました。

市民の皆様向けの人気イベント「ジャガイモ収穫体験」では、今年も約280名の方に御参加いただきました。不安定な天気予報に一喜一憂する場面もありましたが、当日はなんとか雨に降られずにイベントを終えることができました。参加者の方々からは「楽しかった!」「また来たい!」といった嬉しいお声をいただき、大変励みとなりました。

収穫したジャガイモの一部は、市内のこども食堂や保育所等へ提供させていただきました。本事業に御協力いただいた関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

農業委員会委員・農地利用最適化推進委員を募集します

農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員が令和9年5月に任期満了となることに伴い、次期委員候補者を募集します。

募集要項については詳細が決定次第、広報つくばや市ホームページでお知らせします。

○農業委員会委員

農業委員会の委員（非常勤特別職の地方公務員）であり、農地法に基づく売買・貸借の許可、農地転用案件への意見具申、遊休農地の調査・指導等の職務を担います。

○農地利用最適化推進委員

農業委員会が委嘱する委員（非常勤特別職の地方公務員）であり、担い手への農地等の利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進等の職務を担います。

農業委員会の業務紹介

「農業委員会」は農業委員会等に関する法律により市町村に設置される行政委員会です。つくば市農業委員会の主な業務を紹介します。

総 会

毎月開催される総会では、農業委員が一堂に会し、農地法に基づく許認可等を行います。農業と宅地開発の両方が盛んにつくば市は、申請の件数が県内随一、一件ずつ慎重に審議します。



農地パトロール

遊休農地や違反転用の早期発見のため、担当地区ごとに分かれて市内農地の見回りをします。調査にはタブレット端末を活用します。



農地利用意向調査

遊休農地の恐れのある農地の所有者様に、郵送または訪問にて今後の農地の利用予定を伺います。つくば市の農地を守るための大切なお仕事です。



研修・視察

委員のスキルアップのため、研修会に参加します。また、他自治体の先進的な取り組みを学ぶための視察も実施しています。



農地のマッチング

地域の「農地を貸したい」「農地を借りたい」の声を聴き、次の担い手に農地をつなぐためのマッチングを支援します。



その他にも、意見書の提出、講習会の開催、広報紙の作成など、農業委員会はつくば市の農業発展のため、様々な活動をしています。



あなたも農業委員に — 女性委員の本音インタビュー —

農業委員会活動を振り返って
つくば市農業委員会委員 雨貝 洋子



つくば市の農業委員は現在22名、うち女性委員は私と青木さんの2名在籍しております。私達女性委員2名は、有難い事に気が合い（二人とも気が強い😊）、楽しく農業委員会の行事に参加しています。女性委員としての役割とは？となると、なかなか答えが出ませんが、やはり男性委員でな



ければならない事も沢山有り、頭が下がります。例えば、農地再生チャレンジ事業では、荒れた休耕地が農業委員達の力で蘇り、立派なじゃがいもが沢山収穫される農地になります。大きな機械で手際良くこなし、アツと言う間の作業。私達女性委員は、その光景に敬意を感じつつ、細かい作業をしています。とても楽しいです。毎月ある総会では、やはり男性の目で見える意見、女性の目で見える意見、両方が必要であることを痛感しています。私達2人は、農業委員に任命されて過ごした年月を誇りに思います。

農地等の公売に参加してみませんか？

市では、他の自治体と合同で、一般の方も参加できる不動産公売（期日入札）を実施します。

公売とは

差し押さえた財産（農地等の不動産）を滞納市税に充てるため、広く買受希望者を募り、売却することをいいます。 **※農地の公売に参加するためには、農業委員会が発行する買受適格証明書が必要です。**

- 日時：令和8年(2026年)11月2日(月) 12:30～受付開始
- 場所：茨城県下妻市本城町三丁目13番地 下妻市役所 3階会議室
- 公売物件は、順次公告します

詳細については、納税課へお問い合わせください。
TEL 029-883-1111 (代) 内線 2942、2940

市ホームページにも
物件を掲載しています



農業者を支援する補助制度があります

農業の経営発展と新規就農を支援する様々な補助制度があります。詳細は各ホームページをご確認ください。

※事業主体（国・県・市等）によって問い合わせ先が異なります。

※事業の内容は予告なく変更、終了する場合があります。

茨城県の
ホームページは
こちら▼



(茨城県農業政策課)

つくば市の
ホームページは
こちら▼



(つくば市農業政策課)

気になる!

農家インタビュー

木村ぶどう園
木村 和也 さん
(茎崎地区)



木村 和也 さん



品種によって形も様々。色付きを待つばかりです。



手早く不要な粒を取り除きます。その手捌きはまさに職人技。

●お前は農家を継げ!

牛久沼に架かる荻崎橋、そのふもとでぶどう園を経営する木村さんは農家の生まれ。農業を継ぐことについて伺うと、「『継いでほしい』ではなくて『やれ』って感じでしたね。」と苦笑いでした。高校卒業後、農業大学校に入学した木村さん。その頃実家は水稲やぶどうを栽培していましたが、「周りがやっていない新しい技術を身に付けて」というお父様からの助言もあり、選んだ学科はまさかの果樹園芸コース。特にぶどう栽培の面白さにはまってしまったのだそう。その頃のぶどうは巨峰やデラウェアなどが主流で、実を皮ごと食べる文化がありませんでした。「これからは、種なしで皮ごと食べられるマスカットの時代が来る。」指導してくれた先生から長野県の研修先を紹介されると、願ってもないチャンスと即決断。一年間住み込みでぶどう栽培を学びました。つくばに帰る際、研修先の農園から手渡されたのは、その農園で育種されたオリジナル品種の苗。「このぶどうを俺だと思って育てる。」木村さんのぶどう農家の道がスタートしました。

●手間と労苦の積み重ね

ぶどうの栽培には、多くの手間と労苦が伴います。取材に伺った6月下旬は、粒抜き作業の真っ最中。粒抜きとは、房に付いている粒の数を減らし、残した粒に養分を集中させて、形と大きさを整える作業です。はさみで房をつつ丁寧に、すべて手作業で行います。また、マスカットは雨に弱いので、

●収穫の喜びと、その先の道

ハウス栽培による雨除けが基本。一方で、木が水切れを起こすと果実から水分を奪ってしまうので、こまめな灌水によって水分量をキープします。ぶどうがきれいに色付くには、日中の寒暖差が重要です。「つくばの夏は夜間の気温が下がりすぎて、いつもややもします。」と木村さん。そんな手塩にかけて育てたぶどう、過去には窃盗被害も。「ある日園場に行ったら、ぶどうがありませんでした。」ぶどう栽培は絶え間ない試練と向き合い続けます。

一年生作物と異なり、果樹は最初の数年は収穫が期待できません。木村さんも、収入がない中で苗の育成に専念しました。当時は不安でいっぱい、長野の研修先にしつこく電話で質問してましたね。「そして迎えた初収穫、『嬉しかったなあ。』と、木村さんの顔がほころびます。現在は15品種のぶどうを栽培しており、すべてハウス前の直売所で販売しています。就農26年目を迎えた木村さん、今後の展望を伺うと「まだ本格的には手を付けられてないんですけど、いつかぶどうの新品種を育種したいですね。」と教えてくれました。先人から受け取ったぶどう作りの想いは、いつの日か、つくば発のオリジナル品種という新しい形で次世代へと受け継がれていくのかもしれない。



おくやみ

農業委員の本橋文男様が1月にご逝去されました。謹んで哀悼の意を表しますとともに、長年の農業委員会活動への御尽力に深く感謝申し上げます。

令和8年8月~12月
農業委員会総会開催予定日

8月12日(水) 9月14日(月) 10月13日(火)
11月13日(金) 12月14日(月)



農業者年金に加入して安心して豊かな老後を!!

3つの要件を満たせばどなたでも加入できます

- ・年間60日以上農業に従事
- ・20歳以上60歳未満
- ・国民年金の第1号被保険者(保険料免除者を除く)

※60歳以上65歳未満の国民年金の任意加入被保険者も含む

農地法に基づく許可申請の締切は

毎月20日です。



締切が閉庁日の場合は、直前の開庁日が締切となりますのでご注意ください。

(窓口受付時間 8:45~16:30)

全国農業新聞

オールカラーで読みやすい! 農業者目線のタイムリーな情報誌です。

発行日 毎週金曜日(B3版8~10頁)

購読料 月900円(送料込)

発行 全国農業会議所



◎編集

情報提供
専門委員会

●委員長

青木 道子

●副委員長

雨貝 洋子

●委員

加園 秀信

●委員

中島 信夫